

スポーツ施設整備等の方針について

1 これまでの検討状況について

- ・竹平記念体育館サブアリーナ基本設計結果（令和 7 年度実施）

建設費用概算：約 35.5 億円
建物延べ面積：約 3,400 m²（アリーナ面積 1,420 m²）
駐車場台数：新規整備 33 台（既設 152 台）

→将来的な総合体育館整備を見据えたとき、二重投資の懸念

→多くの利用者へ対応するだけの十分な駐車場台数を確保することが困難



◇竹平記念体育館へサブアリーナを整備する計画については取り止める。

◇現在のスポーツ需要への対応を図りながら、市の財政状況等を踏まえ、より効率的、効果的なスポーツ施設整備の方向性を検討

2 新体育館の整備について

本市では、2000 年とやま国体に向け、総合体育館を含むスポーツ拠点整備として、地域との協議のもと、平成 3 年に用地取得を行い、高岡スポーツコアを整備。高岡スポーツコア内の約 17,000 m²を総合体育館の建設予定地としていたが、様々な経過を経て、現在においても未整備。これまでの地域等との協議を踏まえ、将来的な高岡スポーツコア内への総合体育館整備に向けた着実な取り組みが必要。

◇高岡スポーツコア（二塚地区内）への総合体育館の整備に向け取り組みを進める。

ただし、

・施設整備は段階的に進め、まずは将来的なメインアリーナとなる体育館を整備
・整備内容は簡素で効率的な整備となるよう、平成 29 年当時の計画から見直し
→東洋通信スポーツセンターの代替施設となる市民体育館として整備

- ・新体育館は、令和 13 年度の供用開始を目指す。
- ・東洋通信スポーツセンターは、新体育館の供用開始後に廃止する。

- ◇総合体育館として必要な機能（サブアリーナ等）は、既存の竹平記念体育館が耐用年数を迎える頃に、同じくスポーツコア内に整備する方針
→整備内容は、将来的なスポーツ需要、人口動態、社会情勢等を踏まえながら、必要な機能について今後検討

3 県営武道館の廃止に伴う武道機能の確保について

◇県営高岡武道館の廃止（令和9年度末）に伴う活動環境の確保については、古府小学校跡地を活用し環境を整備

◇市営弓道場の老朽化への対応として、古府小学校プール跡地に、新たに市営弓道場を整備

- ・古府小学校体育館を改修し、武道機能確保のための施設を整備
→施設改修に係る財政支援や改修期間中の現県営高岡武道館の使用等について、県へ支援を要望していく。
- ・両施設とも、令和12年度の供用開始を目指す。
- ・現在の市営弓道場は、新弓道場の供用開始後に廃止する。

→将来的な総合体育館整備時には、今回整備する武道機能も相応の年数が経過しているものであり、その時点での施設老朽度、利用状況等を踏まえ、スポーツ施設の集約化の観点からも在り方を再度検討

4 今後の予定、検討事項

- ・新体育館等の具体的な整備内容については、今後、教育委員会で検討を行う。
- ・引き続き、関係団体、議会への説明、協議を行いながら取り組みを進める。
- ・方針の変更にあたり、検討すべき課題については、関係部局で連携しながら対応を進める。

【横田地区の避難機能の整理】

当該地区は、指定避難所となる公共施設数が少なく、サブアリーナは避難所指定が予定され、将来的に竹平記念体育館のメインアリーナが廃止された後も存置される方針であったもの。地区全体の避難のあり方については、届出避難所制度の活用や隣接地域への避難を含め、これまでも担当部局において地域と協議を行っているところであり、引き続き検討を進めていく。

* 担当 *

教育委員会生涯学習・スポーツ課

TEL 0766-20-1458/FAX 0766-20-1644